



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月2日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL http://www.istyle.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	13,265	25.0	1,135	△15.7	1,029	△20.4	852	△16.2
28年6月期第3四半期	10,609	54.7	1,346	151.0	1,293	141.9	1,016	303.8

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 1,109百万円(49.1%) 28年6月期第3四半期 744百万円(92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	14.70	14.12
28年6月期第3四半期	17.64	17.25

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	14,377	6,836	46.9
28年6月期	9,663	5,690	58.4

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 6,744百万円 28年6月期 5,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,609	30.3	1,450	△17.2	1,352	△18.4	1,050	△17.6	18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	60,831,200株	28年6月期	60,528,400株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	2,709,740株	28年6月期	2,709,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	57,925,040株	28年6月期3Q	57,568,476株

(注)当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは平成28年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を可能性を拡大するフェーズと定め、事業領域の拡大と組織の構築に注力しております。期初より各セグメントにおいて投資を強化しており、第1四半期には人員増に備えた本社増床を行いました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間(平成28年7月1日～平成29年3月31日)の業績は次のとおりとなりました。

売上高	13,265百万円	(前年同期比	25.0%増)
営業利益	1,135百万円	(前年同期比	15.7%減)
経常利益	1,029百万円	(前年同期比	20.4%減)
税金等調整前四半期純利益	1,309百万円	(前年同期比	10.8%減) ※
親会社株主に帰属する四半期純利益	852百万円	(前年同期比	16.2%減) ※

※当第3四半期連結会計期間において、投資有価証券の売却益として特別利益283百万円を計上しております。

前第1四半期連結会計期間において、海外子会社の売却益として特別利益177百万円を計上しております。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme(アットコスメ)」を基盤とした各種サービスが属しており、広告をはじめとするBtoBサービスと一般ユーザー向けのBtoCサービス双方を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「@cosme」のブランディング広告やバナー広告、BtoB課金などのBtoBサービスが成長しました。特にトップクライアントからの受注が好調に推移しております。また、BtoCサービスも堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,089百万円	(前年同期比	17.9%増)
セグメント利益	1,908百万円	(前年同期比	27.3%増)

②Beauty Service事業

当セグメントには、国内における化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営等が属しております。

ECにおきましては、ポイントやクーポンを活用したキャンペーンの実施などにより、売上が好調に推移いたしました。国内の店舗におきましては、当第3四半期連結会計期間において、新たに3店舗オープンしたことにより、期初から12店舗増(M&Aにより取得した4店舗を含む)の23店舗となりました。その他、2月には上野マルイ店の増床を行い、フロア面積106坪(増床前:73坪)と、「@cosme store」の中で最も大型の店舗へと生まれ変わりました。

また、日本の美の魅力を世界へ発信する「@cosme NIPPON PROJECT」を始動し、そのプロジェクトの一環として、日本ならではの天然由来成分や素材を使用した美容関連の商品の企画・販売を行っております。平成29年3月1日には、第1弾の商品「海藻と花と果実の美容液マスク with 琉球美肌」の発売を開始しました。当商品は、当社のECサイトや国内店舗にて販売を行っており、今後は台湾でオープンを予定している当社グループの店舗や、中国での越境ECでの販売の他、その他各国へ卸売なども実施していく予定です。

一方、各事業の成長により売上は大きく増加しておりますが、新規出店に伴うコスト増や新規事業への取り組みにより、費用も増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	6,190百万円 (前年同期比 44.2%増)
セグメント利益	171百万円 (前年同期比 54.3%減)

③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

中国における越境ECにつきましては、出店しているECサイト1社において物流方法が変更されたことにより、その対応のため11月中旬より一時販売を休止しておりましたが、2月上旬より再開いたしました。その他、為替の影響もあり減収となりました。なお、現地通貨ベースでは当第3四半期連結累計期間において、前期比3.2%*の増収となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートは1香港ドル13.98円(前期比1.45円の円高)です。

売上高	1,808百万円 (前年同期比 7.5%減)
セグメント利益	106百万円 (前年同期比 56.3%減)

※売上の大半を占める中国でのEC・卸売事業のみの比較

④その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業が着実に成長し、増収となりました。また、投資育成事業における一部の営業投資有価証券において引当金を計上しておりましたが、第2四半期連結会計期間に31百万円の戻り入れを行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	178百万円 (前年同期比 316.0%増)
セグメント利益	34百万円 (前年同期 セグメント損失 43百万円)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,714百万円増加し、14,377百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,171百万円増加し、10,973百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,956百万円、受取手形及び売掛金が643百万円、商品が514百万円、営業投資有価証券が732百万円、短期貸付金が403百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ543百万円増加し、3,405百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が159百万円減少したものの、有形固定資産が318百万円、無形固定資産が384百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ3,568百万円増加し、7,542百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,942百万円増加し、4,495百万円となりました。これは主に、買掛金が673百万円、短期借入金が550百万円、1年内返済予定の長期借入金が609百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,626百万円増加し、3,046百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,618百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,146百万円増加し、6,836百万円となりました。これは主に、利益剰余金が828百万円、その他有価証券評価差額金が225百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における、業績動向及び業績予想に対する進捗状況を踏まえ、平成28年8月3日に公表いたしました平成29年6月期の業績予想を修正しております。詳細については、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321	5,276
受取手形及び売掛金	1,592	2,235
商品	722	1,236
営業投資有価証券	744	1,475
短期貸付金	3	406
その他	463	357
貸倒引当金	△42	△12
流動資産合計	6,802	10,973
固定資産		
有形固定資産	409	727
無形固定資産		
のれん	133	173
ソフトウェア	739	870
その他	71	284
無形固定資産合計	943	1,328
投資その他の資産		
投資有価証券	944	427
その他	565	924
投資その他の資産合計	1,510	1,350
固定資産合計	2,862	3,405
資産合計	9,663	14,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	525	1,198
短期借入金	50	600
1年内返済予定の長期借入金	591	1,201
未払法人税等	457	186
賞与引当金	156	134
その他	773	1,177
流動負債合計	2,553	4,495
固定負債		
長期借入金	1,412	3,030
その他	9	16
固定負債合計	1,420	3,046
負債合計	3,974	7,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,609	1,618
資本剰余金	1,543	1,552
利益剰余金	2,482	3,310
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,353	6,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	474
為替換算調整勘定	41	70
その他の包括利益累計額合計	290	545
新株予約権	39	67
非支配株主持分	7	25
純資産合計	5,690	6,836
負債純資産合計	9,663	14,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	10,609	13,265
売上原価	4,546	5,991
売上総利益	6,063	7,274
販売費及び一般管理費	4,717	6,139
営業利益	1,346	1,135
営業外収益		
受取利息	1	1
投資事業組合運用益	1	10
助成金収入	3	—
違約金収入	5	—
その他	3	7
営業外収益合計	13	18
営業外費用		
支払利息	5	10
為替差損	32	37
持分法による投資損失	27	65
その他	2	10
営業外費用合計	66	123
経常利益	1,293	1,029
特別利益		
関係会社株式売却益	177	—
投資有価証券売却益	—	283
特別利益合計	177	283
特別損失		
投資有価証券評価損	3	2
その他	—	2
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	1,467	1,309
法人税等	449	455
四半期純利益	1,018	854
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,016	852

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	1,018	854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241	154
為替換算調整勘定	△33	30
持分法適用会社に対する持分相当額	—	71
その他の包括利益合計	△274	255
四半期包括利益	744	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	742	1,106
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	4,317	4,293	1,956	43	10,609	—	10,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	7	21	1	31	△31	—
計	4,319	4,301	1,977	44	10,640	△31	10,609
セグメント利益又は損失 (△)	1,500	374	242	△43	2,073	△727	1,346

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△727百万円は、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△737百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成27年9月11日付で株式会社メディア・グローブの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが44百万円増加しております。

第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、「On Platform事業」セグメントで17百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,089	6,190	1,808	178	13,265	—	13,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	3	58	22	96	△96	—
計	5,102	6,193	1,866	200	13,362	△96	13,265
セグメント利益	1,908	171	106	34	2,220	△1,085	1,135

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,085百万円は、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,092百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「マーケティング事業」、「小売事業」、「美容事業支援事業」及び「投資育成事業」の4区分から、「On Platform事業」、「Beauty Service事業」、「Global事業」及び「その他事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した情報につきましては、「前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。